

コレクション番号	属名	形容語 (種小名以下の学名)	品種名	属の日本語表記	品種名読み (日本語で表記される場合のみ、国際栽培植物命名規約に従い、修正ヘボン式ローマ字で記入)	植物名の日本語表記	特性情報	備考 (公開を希望しないときは列を灰色に塗りつぶす)	導入元・採取地 (非公開)	所在地 (公開を希望しないときは列を灰色に塗りつぶす)	写真ファイル名 (非公開)
0001	Pelargonium		'Freak of Nature' (吹雪ノ松)	テンジクアオイ	(Fubuki-no-matsu)	ペラルゴニウム'フリーク・オブ・ネイチャー'(吹雪の松)	二色系。葉は波打つ。薄緑地に純白の中斑。葉柄と茎は白。花は紅一重。	イギリス作出の輸入品種。日本名は吹雪ノ松。		広島市植物公園	
0002	Pelargonium		'Happy Thought' (谷間ノ雪)	テンジクアオイ	(Tanima-no-yuki)	ペラルゴニウム'ハッピー・ソート'(谷間の雪)	青緑地に白黄の中斑、黒茶の蛇の目が入る。	イギリス作出の輸入品種。日本名は谷間ノ雪。		広島市植物公園	
0003	Pelargonium		'Madame Salleron' (松江錦)	テンジクアオイ	(Matsue-nishiki)	ペラルゴニウム'マダム・サルロン'(松江錦)	二色系、楓葉、青緑地に白の覆輪。	フランス作出の輸入品種。現在海外で扱われている品種と異なる。葉が薄く、夏の高温を嫌い、やや栽培しにくい。		広島市植物公園	
0004	Pelargonium		'Mme. Languth' (富士ノ雪)	テンジクアオイ	(Fuji-no-yuki)	ペラルゴニウム'マダム・ラングース'(富士ノ雪)	二色系、青緑地に白の大覆輪。	アメリカ作出の輸入品種。日本名は富士ノ雪。		広島市植物公園	
0005	Pelargonium		'Mrs. Parker' (神代)	テンジクアオイ	(Jindai)	ペラルゴニウム'ミセス・パーカー'(神代)	二色系、淡緑地に白の大覆輪、淡紫の太い蛇の目が入る。	イギリス作出。横浜植木(株)が輸入。日本名は神代。		広島市植物公園	
0006	Pelargonium		'Skies of Italy' (太陽錦)	テンジクアオイ	(Taiyo-nishiki)	ペラルゴニウム'スカイズ・オブ・イタリー'(太陽錦)	楓形の五色葉、緑地に黄白の大覆輪、濃紅の蛇の目。	イギリス作出。横浜植木(株)が輸入。日本名は太陽錦。		広島市植物公園	
0007	Pelargonium		'浅間錦'	テンジクアオイ	'Asama-nishiki'	ペラルゴニウム'浅間錦'	大葉、五色葉、クリーム地に白の大覆輪、濃桃紅の太い蛇の目が入る。	長野県で作出。		広島市植物公園	
0008	Pelargonium		'千曲ノ輝'	テンジクアオイ	'Chikuma-no-kagayaki'	ペラルゴニウム'千曲ノ輝'	肉厚丸形の大葉にクリーム色の覆輪、紅の蛇の目が入る。冬に赤く紅葉する(冬葉は写真a、夏葉はb)。	長野県で作出。'栄冠'の枝変わり。		広島市植物公園	
0009	Pelargonium		'千代田錦'	テンジクアオイ	'Chiyoda-nishiki'	ペラルゴニウム'千代田錦'	平らな大葉、五色葉、青緑地に新葉は黄覆輪、後に白覆輪、濃紅の細い蛇の目。	大正末期に愛知県海部郡の久米国太郎が作出。横浜市の京楽園・片桐八郎が昭和2年(1927年)に命名。改名前'艶麗'。		広島市植物公園	
0010	Pelargonium		'千代ノ誉'	テンジクアオイ	'Chiyo-no-homare'	ペラルゴニウム'千代ノ誉'	肉厚の小葉、白の細覆輪、秋冬に桃紺の覆輪。	群馬県の尾内が作出。		広島市植物公園	
0011	Pelargonium		'千代ノ松'	テンジクアオイ	'Chiyo-no-matsu'	ペラルゴニウム'千代ノ松'	丸形の小葉、黄の大覆輪、時に白覆輪、金茶の蛇の目が入る。	'千代ノ誉'の枝変わり。		広島市植物公園	
0012	Pelargonium		'栄冠'	テンジクアオイ	'Eikan'	ペラルゴニウム'栄冠'	肉厚丸形の小葉、青緑地に白覆輪、桃紅の太い蛇の目が入る。	長野県佐久市にて作出、愛知県の旭植物園・加藤清が命名。		広島市植物公園	
0013	Pelargonium		'不二錦'	テンジクアオイ	'Fuji-nishiki'	ペラルゴニウム'不二錦'	楓形の大葉、五色葉、鮮緑地にクリーム色の覆輪、濃紅の太い蛇の目が入る。			広島市植物公園	
0014	Pelargonium		'羽衣'	テンジクアオイ	'Hagoromo'	ペラルゴニウム'羽衣'	小形の銀杏葉、黄緑無地。	横浜植木(株)が輸入。輸入時の品種名は不明。		広島市植物公園	

0015	Pelargonium		‘羽衣錦’	テンジクアオイ	‘Hagoromo-nishiki’	ペラルゴニウム ‘羽衣錦’	肉厚の小葉、秋冬は切込みウチワ葉、夏は丸葉。夏は黒地に白の大覆輪、秋冬は白の細覆輪。	横浜市の竹中竹三郎が発表。	広島市植物公園
0016	Pelargonium		‘平安錦’	テンジクアオイ	‘Heian-nishiki’	ペラルゴニウム ‘平安錦’	丸葉、黒緑地に緑黄の覆輪、黒紅の太い蛇の目が入る。冬に赤く紅葉する(冬葉は写真a、夏葉はb)。	京都府の栗田農園・栗田武夫が発表。	広島市植物公園
0017	Pelargonium		‘岩戸ノ舞’	テンジクアオイ	‘Iwato-no-mai’	ペラルゴニウム ‘岩戸ノ舞’	肉厚の小葉、紺緑地にクリーム色の大覆輪、紫紅の太い蛇の目が入る。冬に赤く紅葉する(冬葉は写真a、夏葉はb)。	愛知県の旭植物園・加藤清が発表。	広島市植物公園
0018	Pelargonium		‘金月’	テンジクアオイ	‘Kingetsu’	ペラルゴニウム ‘金月’	二色系、大葉。黄金地に緑の中斑が入る。	輸入品種。輸入時の品種名は不明。	広島市植物公園
0019	Pelargonium		‘錦旗’	テンジクアオイ	‘Kinki’	ペラルゴニウム ‘錦旗’	笠葉の五色葉、青緑地に黄白の覆輪、濃紅の太い蛇の目が入る。	横浜植木(株)が輸入。輸入時の品種名は不明。	広島市植物公園
0020	Pelargonium		‘金光錦’	テンジクアオイ	‘Kinko-nishiki’	ペラルゴニウム ‘金光錦’	丸形の大葉、緑地にクリーム色の大覆輪、紅の太い蛇の目が入る。	愛知県の旭植物園・加藤清が発表。	広島市植物公園
0021	Pelargonium		‘金世界’	テンジクアオイ	‘Kin-sekai’	ペラルゴニウム ‘金世界’	二色系、丸葉、青緑地に黄の糸覆輪。		広島市植物公園
0022	Pelargonium		‘麒麟’	テンジクアオイ	‘Kirin’	ペラルゴニウム ‘麒麟’	二色系、肉厚丸葉、青緑地に紺の糸蛇の目が入る。	明治末期に横浜植木(株)が輸入。輸入時の品種名は不明。	広島市植物公園
0023	Pelargonium		‘古金欄’	テンジクアオイ	‘Kokinran’	ペラルゴニウム ‘古今欄’	浅緑地に黄の大覆輪、茶の太い蛇の目が入る。	昭和40年(1965年)頃‘古金欄’が絶滅したため、旭植物園が似たような別品種に命名。	広島市植物公園
0024	Pelargonium		‘黒雲竜’	テンジクアオイ	‘Koku-unryu’	ペラルゴニウム ‘黒雲竜’	楓形の小さ葉、暗黒地に濃紺の蛇の目が入る。夏葉は緑色(写真b)、冬葉は黒色になる(写真a)。	輸入品種。輸入時の品種名は不明。	広島市植物公園
0025	Pelargonium		‘光山錦’	テンジクアオイ	‘Kouzan-nishiki’	ペラルゴニウム ‘光山錦’	丸形の小さ葉、五色葉、白覆輪、紅の太い蛇の目が入る。冬に赤く紅葉する(冬葉は写真a、夏葉はb)。	愛知県の旭植物園・加藤清発表。	広島市植物公園
0026	Pelargonium		‘雲井鶴’	テンジクアオイ	‘Kumoi-zuru’	ペラルゴニウム ‘雲井鶴’	楓形の小さ葉、黄白覆輪、紅の蛇の目が入る。冬に赤く紅葉する(冬葉は写真a、夏葉はb)。	戦後に長野県で発表。	広島市植物公園
0027	Pelargonium		‘真鶴’	テンジクアオイ	‘Manazuru’	ペラルゴニウム ‘真鶴’	笠形の大葉、五色葉、青緑地に白覆輪、濃桃の太い蛇の目が入る。有毛。	輸入品種。輸入時の品種名は不明。	広島市植物公園
0028	Pelargonium		‘明山錦’	テンジクアオイ	‘Meizan-nishiki’	ペラルゴニウム ‘明山錦’	小葉、黄覆輪、紅の蛇の目が入る。	愛知県の旭植物園・加藤清が発表。	広島市植物公園
0029	Pelargonium		‘大虹’	テンジクアオイ	‘Oniji’	ペラルゴニウム ‘大虹’	丸形の大葉、五色葉、濃緑地にクリーム色の覆輪、紅紺の太い蛇の目が入る。	横浜市の京楽園・片桐八郎が発表。	広島市植物公園
0030	Pelargonium		‘漣’	テンジクアオイ	‘Sazanami’	ペラルゴニウム ‘漣’	不定形葉、深い切込み、青緑葉に白の覆輪、冬には葉先に純黄の大小の玉斑飛び入る。(冬葉は写真a、夏葉はb)。	輸入品種。輸入時の品種名は不明。暑さに弱いので夏は冷房下で管理。	広島市植物公園

0031	Pelargonium		‘青海波’	テンジクアオイ	‘Seigaiha’	ペラルゴニウム ‘青海波’	二色系、葉はやや綴化して波打つ。青緑地に白の覆輪。	輸入品種。輸入時の品種名は不明。	広島市植物公園
0032	Pelargonium		‘戦勝錦’	テンジクアオイ	‘Sensyō-nishiki’	ペラルゴニウム ‘戦勝錦’	二色系、丸葉、青緑地に黄と白の散り斑、白の大覆輪。	生育旺盛のため、摘心して勢いを弱めないと本芸が出にくい	広島市植物公園
0033	Pelargonium		‘七福神’	テンジクアオイ	‘Shichifukujin’	ペラルゴニウム ‘七福神’	丸形の不同葉、浅黄地に紅褐色の太い蛇の目が入る。	生育旺盛のため、摘心して勢いを弱めないと本芸が出にくい	広島市植物公園
0034	Pelargonium		‘真珠’	テンジクアオイ	‘Shinju’	ペラルゴニウム ‘真珠’	緑地に薄黄の中透け、茶紅の太い蛇の目が入る。	愛知県の久米国太郎が作出。‘常盤’の枝変わり。	広島市植物公園
0035	Pelargonium		‘篠国’	テンジクアオイ	‘Shinokuni’	ペラルゴニウム ‘篠国’	丸形の小さ葉、白覆輪、紅紫の太い蛇の目が入る。	愛知県の久米国太郎が作出。	広島市植物公園
0036	Pelargonium		‘七宝錦’	テンジクアオイ	‘Shippō-nishiki’	ペラルゴニウム ‘七宝錦’	薄肉丸形の大葉、五色葉、青緑地に白の大覆輪、濃桃の蛇の目が入る。冬にほんのり赤味を帯びる(冬葉は写真a、夏葉はb)。	昭和3年(1928年)四国で実生で作出され、愛知県の久米国太郎が命名。	広島市植物公園
0037	Pelargonium		‘紫雲殿’	テンジクアオイ	‘Shiunden’	ペラルゴニウム ‘紫雲殿’	肉厚の小さ葉、赤紫地にクリーム色または赤の細覆輪、紺の太い蛇の目が入る。	‘紫雲竜’の実生。	広島市植物公園
0038	Pelargonium		‘昭和錦’	テンジクアオイ	‘Showa-nishiki’	ペラルゴニウム ‘昭和錦’	中型種。二色系、綴葉、濃緑地に白の打ち込み斑。	昭和3年(1928年)に横浜市で発表。戦勝錦の枝変わり(綴化)。	広島市植物公園
0039	Pelargonium		‘秀峰錦’	テンジクアオイ	‘Shūhō-nishiki’	ペラルゴニウム ‘秀峰錦’	丸葉、白の大覆輪、鮮紅の太い蛇の目が入る。		広島市植物公園
0040	Pelargonium		‘大正錦’	テンジクアオイ	‘Taisyō-nishiki’	ペラルゴニウム ‘大正錦’	二色系、大小の葉、葉面は波打ち、凹凸の切れ葉、青緑地に白の覆輪。		広島市植物公園
0041	Pelargonium		‘常盤’	テンジクアオイ	‘Tokiwa’	ペラルゴニウム ‘常盤’	大葉、丸形の五色葉、淡緑地にクリーム色の覆輪、鮮桃と薄茶の太い蛇の目が入る。	東京都の小林が実生で作出、横浜市の京楽園・片桐八郎が命名。	広島市植物公園
0042	Pelargonium		‘大和錦’	テンジクアオイ	‘Yamato-nishiki’	ペラルゴニウム ‘大和錦’	大葉、丸形の五色葉、青緑地に黄金の大覆輪、黄赤の太い蛇の目が入る。	愛知県で作出。	広島市植物公園
0043	Pelargonium		‘瑞雲錦’	テンジクアオイ	‘Zuiun-nishiki’	ペラルゴニウム ‘瑞雲錦’	やや楓形の小さ葉、白覆輪、紫紅の太い蛇の目が入る。冬に赤く紅葉する(冬葉は写真a、夏葉はb)。	愛知県の旭植物園・加藤清が発表。	広島市植物公園